

岡本小学校だより



八千代



令和4年度 第4号
令和4年9月28日発行
発行責任者 半田文男

不審者対応の避難訓練！！

～自分を守る合言葉 「イカのおすし」～

朝会などの校長講話の機会に、子供たちに伝えていることのひとつに、「自分の身は自分で守る」ということがあります。新型コロナウイルス感染症ばかりでなく、交通事故、自然災害、犯罪など、子供たちが気を付けなければならない危険はたくさんあります。



「いかのおすし」

知らないひとには、ついて

いかない

こえをかけられても、くるまには

のらない

知らないひとに
つれていかれそうになったら

おおこえをだす

こえをかけられたり
おいかけられたりしたら

すぐにげる

こわいことにあったり
みたりしたら、すぐにおとなに

しらせる

そんな危険から、身を守る学習として、9月9日（金）に不審者の侵入を想定した避難訓練を行いました。宇都宮東警察署の方が不審者に扮して、5年2組の教室前に現れたという想定です。5年生は教室に鍵をかけて机といすでバリケードを作って身を守り、他の学年は体育館へ避難をしました。教職員は、子供たちを避難させるとともに、さすまたを使って不審者を追い払います。訓練は、子供たちに不安を与えないように配慮しながらも真剣に実施しました。

また、実際の訓練のほかに、子供たちが誘拐などの事件に巻き込まれないように、警察署の方の話を聞いたり、ビデオを見たりして、危険から身を守る方法を学びました。また、教職員も、警察署の方からさすまたの使い方や不審者への対応の仕方について助言を受けました。

学校では、引き続き、校門の閉鎖や来校者への声掛けなどの不審者対策を行うとともに、様々な安全に関する教育を進めてまいりますので、保護者の皆様や地域の皆様の御協力をお願いいたします。



◇ 教室に鍵をかけて、机といすでバリケードを作って、不審者の侵入を防ぎます。



◇ 警察署の方のお話です。不審者から身を守る方法は「イカのおすし」です。

みんなで協力 なかよし班活動！

岡本小では、1年生から6年生までの縦割り班を編成して、子供たちが遊びを通して、互いに認め合い、励ましあい、協力し合える豊かな人間関係を築けるように、「なかよし班」活動を行っています。

5月に「なかよし班」の顔合わせを行い、年間8回の活動内容を決めたり、班で集合するときに目印となる班表示を作成したりしました。6月からは、みんなの意見を聞いて決めた活動を行っていきます。1年生から6年生までみんなが楽しめるように、誰もが参加できる内容を考えたり、学年で力の差が出ないように、上学年にハンデをつけたりするなど、工夫をしながら活動しています。



◇ 6年生がリーダーシップを発揮して、整列させたり、活動の説明をしたりしています。



◇ 中線踏みです。みんなで協力して、捕まった仲間を助けます。

涼しい体育館 空調設備の完成！

宇都宮市では、子供たちと教職員の健康を守るとともに、学習意欲や集中力を低下させることなく学べる環境を確保することを目的に、小中学校の体育館に空調設備の導入を進めてきました。

岡本小におきましても、昨年度末から準備が進められ、今年度より工事が始まり、夏休み明けに完成しました。朝晩はだいぶ涼しくなってきましたが、日中は気温が高くなる日もあり、今の時期でも体育館に空調設備が完備されたのは、大変ありがたいことです。早速、熱気にあふれた子供たちの体育の授業で運転を開始しています。

また、子供たちの活動ばかりでなく、体育館の利用団体等の活動においても有効活用されています。



◇ 空調の機器は、体育館の北側と南側に各3台、計6台が設置されました。



◇ 3年生の体育の授業です。快適な環境の中で、のびのび体を動かしています。